

事務事業名		Y・Sセンター等維持管理事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業																													
政策体系	政策名	014 安心が「確保されたまちづくりの推進			事業期間		予算科目																													
	施策名	12 地域福祉体制の構築					会計	款	項	目	事業																									
	基本事業名	01 自立を支える地域福祉推進体制の充実					01	03	01	01	03																									
根拠法令					☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入																															
所属	部課名	生活福祉部																																		
	係名	福祉推進係	電話	27-3111																																
			内線	182																																
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 活力とるおいの丘アスパークのあるまちづくり事業により、児童から高齢者にいたるあらゆる世代間の交流による学習、伝承、余暇活動、相互理解等の場を提供するため、大船渡市Y・Sセンターを整備し、平成4年度から社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会に管理運営を委託している。(大船渡市Y・Sセンターの設置管理に関する条例の第10条により、委託は公共的団体に委託することができる。)平成18年度からは大船渡市社会福祉協議会が指定管理者となっている。20年度より、利用料金制度を導入した。 委託業務は、(1)Y・Sセンターの施設、附帯設備及び物品の管理、(2)施設等の使用手続き等、(3)使用料の徴収、(4)施設等を使用して行う市民福祉の向上に資する行事等、(5)前各号に掲げるほか、施設等の設置目的を達成するために必要な業務 事業費は、指定管理者への委託料、その他修繕費や備品購入費等に支出される。					全体計画 (期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費 内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>トータルコスト(A) + (B)</td> <td>0</td> </tr> </table>					総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源				事業費計 (A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0			トータルコスト(A) + (B)	0
総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金																																		
		都道府県支出金																																		
		地方債																																		
		その他																																		
		一般財源																																		
		事業費計 (A)	0																																	
人件費	正規職員従事人数																																			
	延べ業務時間																																			
	人件費計 (B)	0																																		
		トータルコスト(A) + (B)	0																																	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動) 前年度実績 (前年度に行った主な活動) (社福)大船渡市社会福祉協議会は、委託業者としてふさわしい実績がある公共的団体であることから、見積書を徴し、予算の範囲内で委託契約を締結している。 今年度計画 (今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ		名称 ア 開館日数 イ ウ	単位 日
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・大船渡市Y・Sセンター及び利用者		対象指標 (対象の大きさを表す指標) 名称 カ 大船渡市Y・Sセンター施設面積 キ ク	単位 m ²
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) 大船渡市Y・Sセンターの適切な管理運営をもち、 大船渡市Y・Sセンターの施設、附帯設備を利用し、健康増進や学習・文化の向上を図ってもらう。		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 名称 サ 施設不具合件数 シ Y・Sセンターの収支比率 (収入額 / 支出額) ス Y・Sセンター利用者数	単位 件 % 人
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) ノーマライゼーションの理念を正しく理解してもらう。 積極的に自立を支える活動をしてもらう。 ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮してもらう。			

(2) 総事業費・指標等の推移										
				年度 単位	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (J実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	50,000	40,000	40,434	40,913	30,000	29,420
			事業費計 (A)	千 円	50,000	40,000	40,434	40,913	30,000	29,420
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	20	20	20	20	20	20	
		人件費計 (B)	千 円	80	80	80	80	80	80	
		トータルコスト(A) + (B)	千 円	50,080	40,080	40,514	40,993	30,080	29,500	
活動指標		ア	日	306	307	306	306	311	296	
		イ								
		ウ								
対象指標		カ	m ²	47117	47500	47500	47500	47500	47500	
		キ								
		ク								
成果指標		サ	件	21	15	15	25	15	10	
		シ	%	20.8	25.1	22.6	20.9	29.8	29.6	
		ス	人	47117	49793	49063	43909	42200	42802	

事務事業ID	0157	事務事業名	Y・Sセンター等維持管理事業
(3) 事務事業の環境変化・住民意見等 この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 活力とうるおいの丘アスパークのあるまちづくり事業により、大船渡市Y・Sセンターを建設したことにより、管理運営をするため。			
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ H4の開業当初は、室内温水プールはもの珍しさもあり利用者数も多かったが、開設以来、年々利用者数は減少傾向にある。 また、施設も老朽化しており、修繕が必要になってきている。			
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 あらゆる世代のための生きがいや健康づくりなどの拠点として整備された施設の管理運営事業であるため。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 市民の福祉向上のため必要不可欠な施設として、市が設置した施設であるため。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 委託先である(社福)大船渡市社会福祉協議会の運営は、適正に行われている。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 PR不足、高齢者の利用を増やすためには、交通の利便性を図る必要がある。 もっと、施設を利用した行事等を行うこと。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 他に、室内温水プールはなく、年間を通じて、水泳教室をする公営の施設が市内にはないため
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 市民プールや民間の室内温水プール ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 Y・Sセンターは、ジムやトレーニングプール、和室、遊戯室などの多目的複合施設であり、統合はできない。 ☐ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 (社福)大船渡市社会福祉協議会の運営は適正に処理されており、委託料を削減することはできない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 委託業務のためのため、所要時間はかからない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☒ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 公平・公正である [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 施設の使用料の見直しは、定期的に行う必要がある。

事務事業ID	0157	事務事業名	Y・Sセンター等維持管理事業
--------	------	-------	----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) PR活動や、行事等の開催による利用者の増加を図り、また定期的な施設利用料の見直しをすることにより、事業の適切な運営を行う。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 委託先である(社福)大船渡市社会福祉協議会は適正に管理運営しているが、公営の室内温水プールはY・Sセンターのみであるので、今後は利用者の増加を図るため、PR活動や行事の開催を行う必要がある。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 委託先である(社福)大船渡市社会福祉協議会は、現在、Y・Sセンターに事務所を置き適正に管理運営しているが、以前は総合福祉センターに事務所を置いており、H10年度から市の保健介護センターを総合福祉センターに置くため、Y・Sセンターの管理運営を委託したことから事務所を移動した経緯があり、特殊事情のため指定管理者として、(社福)大船渡市社協へ継続委託することが望ましい。																							

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	保健福祉課長
-------	--------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 指定管理に関する事務執行であり適切に行われている。										
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) これまでの管理においても適切に行われており、健康づくり施設として、維持する必要がある。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
